(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 3 月 24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200809		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 光南		
所在地	広島市中区光南2-20-15 (電話) 082-247-2080		
自己評価作成日	平成29年2月28日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200809-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年3月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

リバーサイドに位置し、苑の向かいには公園がありその先には本川に沿った遊歩道が散歩コースになっています。春には桜、秋は紅葉と季節の移り変わりを感じながら散歩に出かけて頂いています。日々の生活では、スタッフ一同理念を念頭に置きご利用者様のできている事への支援、できていない事への支援を行い笑顔に繋ぐことができるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所理念に明示されている「利用者の笑顔」が引き出せるケアを行いたいと取り組み、職員は「利用者の笑顔」に喜びを感じている。また、利用者の思いをくみ取り実現したいと考え、家事や料理が好きな利用者と一緒に作業を行なっている。季節を感じてもらいたいと、なるべく外出するようにし、近隣の公園で保育園児と話をすることもある。利用者の要望を反映した食事を、職員手作りで提供し、節分の巻きずしを一緒につくり、おせち料理を作る際には利用者の助言を反映するなど、利用者と一緒に楽しんでいる。風船を使用したサッカーゲームなど、利用者と一緒に楽しむレクリエーションも実施している。また、事業所独自の避難訓練を毎月1回行い、災害に備えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	・各ユニットに掲示し、申し送りの最後に皆で唱和している。理念に沿った支援が行えるよう努めている。	事業所理念は、開設時の職員が話し合っ て作成された。毎朝の申し送り時に、理念 を唱和し、職員間で共有している。理念 に沿った支援が出来ているかを、職員間 で話合っている。	理念に沿った支援については、職員間で 話し合われているが、実施状況に関して 詳しく評価されていない。今後は、職員 全員で1年間を振り返り、理念に沿った 支援の達成状況を評価し、次年度に反映 することを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし 続けられるよう、事業所自体が地域の 一員として日常的に交流している。	・町内会の行事（納涼会、秋祭り、とん ど祭り、運動会）、町内清掃に参加して いる。公園に出かけ、近隣の園児達との 交流や喫茶店や定食店への外出やスー パーマーケットでの買い物など、地域と の交流を図っている。	町内会に加入し、清掃活動に協力してい る。納涼会・とんど等の町内会の行事に 利用者が参加し、地域住民と交流してい る。利用者が散歩した際に、近隣公園で 遊ぶ保育園児と話をしたり、外食や買い 物の際に店員と会話を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げてい る認知症の人の理解や支援の方法を、 地域の人々に向けて活かしている。	・運営推進会議において、町内会長、民 生委員の方々に出席頂き、認知症の方 たちの苑内での生活や活動などをお伝え している。2月の会議では「認知症の人々 が住んでる世界を理解する」との題目 で、有識者に講義を頂いた。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービス の実際、評価への取組み状況等につい て報告や話し合いを行い、そこでの意 見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の中で、苑内での生活や運 動、行事などの様子が分かる写真を掲示 し、説明を加えながら見て頂いている。 会議の終わりには、出席者皆様にご意見 等を頂いている。頂いた意見をスタッ プに伝え、サービスの向上に繋がるよう 努めている。	運営推進会議は、数名の地域住民・家族 が参加し、定期的開催されている。毎 回、外部から講師を招き講義を行い、意 見交換を行っている。出席者の意見によ り、入浴回数を週1回程度多くし、高齢 者の集まりである「いきいきサロン」の 参加も検討している。	事業所の行事予定・行事報告は会議で報 告されている。事故に関する報告は家 族・市へは行っているが、会議では行わ れていない。 今後は、会議で事故に関する報告をし、 出席者の意見を参考に対策を講じ、サー ビス向上に努めることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り 、事業所の実績やケアサービスの取 組みを積極的に伝えながら、協力関係 を築くように取組んでいる。	・今年は運営推進会議の中で「ノロウィ ルスの予防対策について」「防災対策に ついて」の講義を依頼し、それに際し て、ご挨拶に伺ったり、電話でのやり取 りを密に行った。	運営推進会議に、市職員が講演者として 出席し、意見交換を行った。運営推進会 議の開催案内は、毎回、市に提出してい るが、いまだ担当者の出席はない。地域 包括支援センターと「認知症カフェ」に ついて意見交換をした。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・身体拘束ゼロの意識は、職員全員で周知徹底できている。玄関、ユニット入口は暗証番号での開閉扉になっているが、安全面及び防犯面でご家族様にはご理解を頂いている。また、外出、屋上での外気浴や他ユニットへの移動など、介護士付き添いで行っている。</p>	<p>「身体拘束」に関する職員研修は行っていないが、管理者はスタッフ会議で身体拘束をしないケアについて話をしている。今後、研修を行う予定である。玄関・フロア入り口は、セキュリティ及び事故防止の為にロックしているが、そのことを家族は了解している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>・ユニット内でのご利用者様への言葉遣いや清潔の保持など、日々の業務の中で、職員間で注意し合いながら業務に就いている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・スタッフ会議の中で、分かり易い資料を参考にし、成年後見制度について取り組んだ勉強会を行った。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・契約時に、分かり易い説明ができるよう心がけ、理解が得られるように努めている。また、不安や疑問などについて問いかけ、質問が表出しやすいよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族様の面会時、会話の中で聞いたことやケアプラン説明の時などで意見を伺っている。その内容を連絡ノートや申し送りの中で全職員に伝え、ケアに反映している。</p>	<p>家族の来訪時に話を聞いたり、玄関に「ご意見箱」を設置して、家族の意見・要望を把握するように努めている。今のところ苦情はない。利用者に対する家族の要望に関しては、しっかりケアできるように「申送り」「連絡ノート」で職員に伝達している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1回、社長出席のスタッフ会議が行われ、各担当の業務報告を行い、意見交換をしている。また、管理者は連絡ノートの活用及びカンファレンスなどで、意見を出し合えるよう努めている。</p>	<p>月1回、法人関係者も出席してスタッフ会議が行われ、各担当者の報告と職員の意見を聞いている。「利用者が食べやすい食事の形状」について、歯科医師と意見交換し、適切な形態を決定したこともある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・代表者は職員の能力や日頃の努力・実績を加味し、昇給や賞与に反映している。また、異動によって他施設での業務経験を重ねることにより新しい知識を習得し、向上していけるようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・苑内外研修に、必要に応じ個別で参加している。全施設内研修では、受講したスタッフが月、1回のスタッフ会議の中で伝達研修として報告し、周知している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センターから空き状況の問い合わせを受けたり、苑からも運営推進会議へのお誘いや施設見学会のお知らせなど、連絡を取り合っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>・入居前、面談を行い、ご本人、ご家族に今までの暮らしぶりや不安、要望等を傾聴し、安心して頂けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>・入居に際し、不安がないように会話の時間を多く持ち、心配事や要望などお聴きして、信頼関係を構築できるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>・入居前の面談やご家族様からの聴きとりなどで、必要と思われる支援を見極め、実践可能なサービスができるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>・ご本人の得意なことや、今までの生活の中でされていた事をして頂いている。時には、家事や戦時中のお話の中で教わる事がある。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>・ご本人とご家族様で外出（外食）されたり、散歩に出かけられたりと、ご協力を得ている。面会時など、日中や夜間の生活状況をお伝えしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>・ご家族様と外出され、美容院など行きつけのお店へ出かけられたり、法要や気分転換などで一時帰宅される方がある。お正月など、折にふれ遠方から孫やひ孫様の面会があり、その際ゆっくり過ごして頂けるよう努めている。</p>	<p>今まで利用していた美容院に家族と一緒にいき、関係を継続している。また、利用者の親類や孫などが訪問した際には、飲み物を出して歓待し、ゆっくり過ごせるように配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> リビングでは、ご利用者様同士のコミュニケーションが図れるよう、スタッフが間に入り対応している。 トラブルを早くに察知して、回避または増長しないよう努めている。 		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 契約終了後の方は現在おられない。 		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ご本人のペースにできるだけ応えられるよう配慮している。家事の好きな方には、料理や片付けを一緒にして頂き、休息の必要な方には、自室での臥床時間を作っている。 	日常会話から得られた利用者の思い・意向は、申送り時に報告され、職員間で共有し、必要があればケアプランに取り入れている。家事の好きな方・料理の好きな方は一緒に作業をし、今まで楽しんでいた水墨画を続けることを、ケアプランに入れた例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 使い慣れた洋服や趣味の道具などを持参して頂いている。 使い慣れた化粧クリームなどの日用品をきらさないよう、ご家族様への依頼や、時によっては、お預け頂いている小口現金で購入している。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様の変化などを記録に残し、併せて新しい情報など、申し送りの中で伝え合い連絡ノートも活用することで、共有できるよう努めている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月に1回のモニタリングを実施し、担当者がケアプラン案を作成している。ご家族の要望、スタッフの意見を反映し、作成している。 	<p>利用者毎に担当者を決めている。毎日、利用者毎の「ケアプラン実施状況表」を職員がチェックし、計画作成者が総合的なモニタリングを行っている。その後、ケアカンファレンスで職員や家族の意見を聞き、ケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、介護記録に残している。 ・日々のモニタリングをする事で、サービスが行えているか評価し、介護計画の見直しに役立っている。 		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の付き添いにより車で出かけ、お花見や紅葉狩り、外食などを行っている。苑内でマッサージを受けられるご利用者様もおられる。 		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加したり、近隣のスーパーやコンビニエンスストアでお好きなものを買物されている。また、散歩中にはご近所の方と挨拶を交わしたり、喫茶店などに出かけ、お店の方とおしゃべりを楽しんでいる。 		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医による往診が月2回ある。緊急時、必要時には連絡を取れるようになっている。 ・必要時には、かかりつけ医にご家族様の意向をお伝えしている。 	<p>利用者と家族の要望で、かかりつけ医を決めている。利用者の半数以上は事業所の協力医をかかりつけ医とし、月に2回、往診により利用者の健康状況を把握している。看護師は各かかりつけ医と連絡を取り、対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>・申し送りの中での情報収集や、日々の業務の中での変化や気づきを報告することにより、情報を共有している。看護師による観察を踏まえ、早期の対応に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・主治医により、入院先の病院との連携は取られている。入院時には必要な情報を提供し、訪問した際は、看護師からの情報を得たり、医療連携室の担当者とのやり取りを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>・必要時に主治医から病状説明を行っている。ご利用様が重度化し、ご家族様から医療を選択されず、施設での最期を希望された場合、ご家族様、主治医、看護師、介護士、ケアマネジャーで話し合い、可能なケアを行うこととしている。</p>	<p>時宜要所としては、家族からの要望があれば看取りを行う方針である。重度化した際には、医師の判断を基に家族の要望を把握し、支援・援助している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>・スタッフ会議の中で、急変時や事故発生時の対応策を勉強している。119番通報のやり取りを模擬練習している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>・ご利用様と共に、日中消防訓練、夜間消防訓練を毎月1回行っている。 ・年1回、防災デーとして備蓄している非常食を炊き出し用のプロパンガスで湯煎にかけ、避難の模擬訓練として食している。年2回、消防署員に来苑頂いて、自衛消防訓練を行っている。</p>	<p>年2回、消防署立ち合いの下に、利用者も参加し、避難訓練を行っている。毎月1回、利用者と一緒に事業所独自の避難訓練を実施し、災害に備えている。今後は、地域との協力体制について話し合う予定である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇を全職員に周知徹底している。節度を持った言葉かけを行い必ず苗字でお呼びするように徹底している。 ・ 不穏言動、拒否、意思疎通が困難な場合など無理強いせず傾聴や寄り添うことで対応している。 	「人格の尊重」「プライバシー」に関しては、新人研修で説明している。利用者となれ合いにならないよう節度を保った対応をし、居室に入・退室する際には、挨拶をし、利用者の苗字で声掛けしている。利用者の話に耳を傾け、話を否定しなように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食事やおやつなどの好物の希望を伺ったり、散歩、買い物、外食などへの希望を表出し易いような声かけを行い、できる限り実現できるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者様の体調や生活リズムに合わせた離床時間や入浴など、またお過ごし頂く場所についても、ご本人の希望に沿えるよう対応している。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お化粧品や行きつけの美容院への外出をされるご利用者様へ、声かけを行っている。 ・ 毎朝、入浴後に使用されるクリーム、あるいは整髪料が無くなる前の、ご家族様への依頼もしくは購入代行を行っている。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お米研ぎ、食材切り、盛り付け、食器洗い、トレー拭きなど、毎日一緒にされている。拭き物は男性もされている。コロッケ作り、巻きずしを巻いて頂いたり、ちらし寿司の飾りつけなど、皆様でされている。 	利用者の要望を聞いて献立を立て、職員手作りの食事を提供している。ひな祭りのちらし寿司など、季節料理を提供している。節分には利用者と巻き寿司作り、おせち料理は利用者の意見を反映した食事を作るなど、利用者と一緒にしている。料理の準備や後片付けも、利用者と一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	・食事量、水分量を毎日チェックしている。極端に偏食のご利用者様には、好みの食材や調味料、ソースを使用した食事提供や咀嚼力や嚥下機能を観察しながら、その方に合った形態を提供している。水分に関して、1年を通して入りにくい方には少量を再々お勧めしたり、軽作業をして頂きながら摂取して頂くなど、工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	・月2回、歯科衛生士による口腔ケアを受けられている。 ・毎日、ご自身でブラッシングして頂き、仕上げ磨き、チェックを介護士が行っている。その際、歯科衛生士の指導による歯間ブラシを用いて行っている。うがいを5回はして頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	・尿意・便意の曖昧な方は、定期的にトイレ誘導を行うことにより、パット内への失敗が減少できるよう努めている。 ・夜間帯は自発的に起きられない場合は、ご利用者様によってはベッド上でパット交換したり、トイレへの声かけを行い誘導するなど、個々の対応をしている。	利用者の排泄パターンを把握して、トイレ誘導をしている。出来るだけ布パンツを使用する取り組みを行い、現在1名が終日、布パンツを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	・排泄表に記録し、把握している。軽い運動を心がけているが、排便が無い場合はかかりつけ医と連携を取り、看護師が緩下剤や座薬を使用し、排便コントロールを行っている。 排泄行為の自立しているご利用者様には、トイレ使用後に確認をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	・前日に入浴への確認をしたり、前もって声かけをするなど、個々に対応している。拒否があった場合は、一旦間を置いたり、声かけするスタッフを変え対応している。翌日に変更することもある。	週に2回は入浴するようにし、入浴の順番は利用者の状況に応じて、職員が相談して決めている。利用者が入浴拒否した場合は、少し時間を置いて入浴をすすめたり、気分の良い時間を見計らう等、いろいろ工夫して対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身のペースで自室で休まれる方、様子を見ながら午前、午後と誘導により休んで頂いている方、個々に対応している。日中は安眠できるよう、体操や散歩、個々に役割を提供するなど、活動時間を作っている。 		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の変更があった場合、看護師より申し送りの中で伝達され、併せて副作用の症状を伝えられている。連絡ノートにも記入している。その視点を持って様子観察を全スタッフがを行い、変化があった際、看護師に伝えている。 		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理、裁縫、編み物、水墨画、ぬり絵、買い物、洗濯物干し・畳み、食器洗い、トレー拭きなどに取り組んでいる。 ・毎朝の新聞、コーヒー、紅茶などを、好みに合わせて個々に提供している。会話の中で食べたいメニューを探り、可能な範囲で提供している。 		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の散歩や喫茶店への外出、スーパーへの買い物、外食など、社会との関わりや気分転換に繋げるよう、目的を持ち声かけしている。 	<p>利用者の気分転換と運動を兼ねて、スーパーに買い物に行ったり、近隣を散歩するようにしている。時には、喫茶店に行ったり、外食に行くこともある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族から小口現金としてお預け頂き、事務所で管理している。細かい買い物は代行し、収支の記載をしている。 ・一名のご利用者様のみ、ご本人の強い訴えとご家族様の要望から、財布にお金を入れて持っておられる。喫茶店などに行かれた時には、ご自身で支払いをされている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>・ご利用者様から手紙を出される事はないが、届いた手紙はお渡ししている。電話について、かけて欲しいと頼まれる事はあるが、ご自身からかけたいとの訴えはない。また、かかった電話はお繋ぎしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>・玄関や靴箱の上に、観葉植物や花を飾っている。リビング内には、ご利用者様の日常の写真や手作りの作品（水墨画、ぬり絵、レクリエーションで作ったもの）を掲示している。</p>	<p>リビングには、季節の花を飾り、習字や水墨画などの利用者の作品、レクリエーションで制作した作品を展示している。また、掃除担当の職員を配置し、施設内を清潔に保つように心がけている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングでの席は、皆様定位置に座られる。お隣同士おしゃべりをされ時には、コーヒーを飲みながらテレビを楽しまれたり、あるいは軽作業をしておられる。個々に尊重しながら、対応している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>危険な物以外はお持ち込み頂いている。自宅で使用されていたソファやデスク、陶器の置物など、馴染みのものを置き、心地よく過ごせるよう支援している。</p>	<p>自宅で使用していた家具を持ち込み、中には自分のデスクで絵を描く利用者もいる。テレビ・ソファを持ち込むなど、居心地よく過ごせるように、それぞれ工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>・バリアフリーであり、あらゆる所に手すりを設置している。車椅子ごと入れるトイレを設置している。生活動線に障害物を置かないよう努めている。リビングに大きな時計を設置しており、皆様見ておられる。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	☐	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	☐	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	☐	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	☐	☐ ①ほぼ毎日のように ☐ ②数日に1回程度 ☐ ③たまに ☐ ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	☐	☐ ①大いに増えている ☐ ②少しずつ増えている ☐ ③あまり増えていない ☐ ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	☐	☐ ①ほぼ全ての職員が ☐ ②職員の3分の2くらいが ☐ ③職員の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	☐	☐ ①ほぼ全ての利用者が ☐ ②利用者の3分の2くらいが ☐ ③利用者の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	☐	☐ ①ほぼ全ての家族等が ☐ ②家族等の3分の2くらいが ☐ ③家族等の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑光南

作成日 平成29年5月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に沿った支援を行えるよう努めているが実施状況について評価をしていない。	実施状況について毎日評価する。	評価表を作成し全スタッフが行った支援について具体的に記録・評価していく。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。